



機関誌 (ほうそう)

2026年5月発行

芳藻

Contents

放送大学奈良学習センター

〒630-8589

奈良市北魚屋東町(奈良女子大学Jホールの3F)

TEL : 0742-20-7870

FAX : 0742-20-7871

<https://www.sc.ouj.ac.jp/center/nara/>

2025年度第2学期 卒業証書・学位記授与式	・・・・・・・・・・	P1
2026年度第1学期 入学者の集い	・・・・・・・・・・	P1
謝辞 卒業生・修了生代表	・・・・・・・・・・	P2
客員教授のご紹介	・・・・・・・・・・	P3
新任客員教授のご挨拶	・・・・・・・・・・	P5
学習相談日	・・・・・・・・・・	P5
ゼミナール開催日程・テーマ等について《6月～9月》	・・・・・・・・・・	P6
「お茶会」開催のお知らせ	・・・・・・・・・・	P7
2026年度第1学期 通信指導について	・・・・・・・・・・	P7

◇奈良学習センター開所時間◇

受付	曜日	利用時間
事務室(事務窓口)	水曜日～日曜日	9:30～12:00、13:00～17:50
視聴学習・図書室	水曜日～日曜日	9:30～17:30 (12時～13時の間、受付業務を中止させていただきます。)

機関誌「芳藻」の由来

センター機関誌「芳藻」の名称は、奈良にふさわしいものとして、万葉集から選んだものです。

「芳藻」は、万葉集巻五に「跪きて封函を開き拝みて芳藻を読む」とあります。遙か離れた故郷からの便りをありがたく拝んで読んでいたことを述べており、芳藻は便りを表しています。

放送大学の「ほうそう」にも通じており、センターと学生を結ぶ絆としての役目も果たしてくれるものとして、名付けられたものであります。





2025年度 第2学期 卒業証書・学位記授与式

3月22日(日)に2025年度第2学期の「卒業証書・学位記授与式」を放送大学奈良学習センターにて挙行いたしました。

第2学期卒業生・修了生22人のうち12人が出席され野村鮎子所長より卒業証書・学位記が授与されました。

その後、式辞に続き、奥田富士雄学友・同窓会長より祝辞が述べられました。

なお、2025年度第2学期卒業生数は、以下のとおりです。

2025年度 第2学期 奈良学習センター卒業生数

教養学部	卒業生数	教養学部	卒業生数
生活と福祉コース	3	人間と文化コース	5
心理と教育コース	7	情報コース	1
社会と産業コース	2	自然と環境コース	3

大学院 文化科学研究科文化科学専攻 修士課程	修了者数
生活健康科学プログラム	0
自然環境科学プログラム	1
人文学プログラム	0
情報学プログラム	0

計
22

ご卒業おめでとうございます



2026年度 第1学期 入学者の集い

3月22日(日)に2026年度第1学期の「入学者の集い」を放送大学奈良学習センターにて挙行いたしました。


野村鮎子所長の式辞に始まり、奥田富士雄学友・同窓会長の祝辞、山崎祥子客員教授と西川明彦客員教授の挨拶に続いて、客員教授の紹介、オリエンテーション、サークル紹介などが行われました。

なお、2026年度第1学期の入学者数は、学部286人、大学院19人で、在学者数は、以下のとおりです。

2026年度 第1学期 奈良学習センター在学者数 (総計867人)

教養学部	全科履修生	選科履修生	科目履修生	特別聴講学生	計
	566	136	64	71	837

大学院	博士全科生	修士全科生	修士選科生	修士科目生	計
	1	9	17	3	30



卒業生 代表
修了生

謝 辞

大学院文化科学研究科
自然環境科学プログラム
井上弘貴

本日は私たち卒業生のために、卒業証書・学位記授与式を開催していただき、誠にありがとうございます。ご多忙の中、ご臨席くださいました先生方、ご来賓の皆様に、卒業生を代表して、心より御礼申し上げます。

放送大学では、年齢や職業等、多様な立場の学生が集い、学問に励んでいます。私の場合は、社会人として働きながら、子ども2人の育児を行う中で、放送大学に入学し、大学院修士課程自然環境科学プログラムを専攻しました。この2年間は仕事と家庭、そして学業を両立させ、修士論文のための研究に取り組む、私にとっては決して平坦ではない道のりでした。しかし、一方で、限られた時間の中で文献を読み、調査やデータ分析を行い、論文にまとめていく研究の過程の中で、研究が少しずつ前に進んでいくことに日々充実感を感じていました。これは先生方のご指導あってのことです。

研究の途中報告の際、仲間の発表をきっかけに、新たな問いが次々生まれ、研究をどうまとめるべきかという悩みが話題になったことがありました。先生方から「それは次の研究で」という趣旨のお話をいただきました。そのお話から、研究とは問いが繋がりに続いていくものであることを学んだと同時に、終わることのない探究の楽しさを感じました。私にとっては、それは生涯にわたって取り組んでいきたいライフワークであると感じています。

放送大学を卒業する私たちは、自ら問いを立てて研究を実行し、その成果を表現するための知識と経験を身につけました。さらに、それを生涯続けていくことができる学問・研究の楽しさを理解しています。私たちは4月からそれぞれの道へ進んでいきますが、学び続ける姿勢と探究心を胸に、現代社会の課題解決に貢献して参ります。

最後になりますが、日々温かくご指導くださいました先生方、日々ご支援くださいました奈良学習センターの皆様、大学職員の皆様、共に学び歩んだ仲間たち、私たちを支え続けてくれた家族に、心より感謝を申し上げます。放送大学のさらなるご発展と、皆様のご健勝をお祈りして、卒業生代表の謝辞とさせていただきます。

客員教授のご紹介

※曜日順に掲載しています



中澤 静男 先生

専門 教育学 (ESD、SDGs)

相談日 水曜日 9:30~12:30

ゼミナール 第2水曜日 10:30~12:00

私の専門は、持続可能な開発のための教育（以下、ESD）です。ESDは、持続可能な社会の創り手を育てる教育で、現行の学習指導要領の基盤的理念になっています。SDGs（持続可能な開発目標）の達成に貢献できる人を育てる教育です。



市来 百合子 先生

専門 臨床心理学

相談日 木曜日 9:30~12:30

ゼミナール 《集中講義》木曜日 9:30~14:40

現代の学校における教育臨床的課題について考え、その対応としての子どものコミュニケーション=カウンセリングマインドの意義について考えていきたいと思っています。後半では非言語的な媒体（アート）を用いた心理的なケアについてご紹介します。



西川 明彦 先生

専門 工芸学

相談日 金曜日 10:00~13:00

ゼミナール 第3金曜日 10:30~12:00

人は文化財に接した際、5W1Hすなわち「When いつ」「Where どこで」「Who 誰が」「What 何を」「Why なぜ」「How どのように」作ったか、そして如何にして守られてきたのかに興味を湧く。それらについて、正倉院宝物を中心に具体的な方法や理念なども交えて紹介したいと思います。



客員教授のご紹介

※曜日順に掲載しています



鈴木 則子 先生

専門 日本史学

相談日 金曜日 10:00~13:00

ゼミナール 第2金曜日 10:30~12:00

江戸時代の医療・介護・妊娠出産・化粧・服飾といった、生活の歴史を研究しています。テレビドラマの舞台となることの多い時代ですが、史資料を渉猟すると、私たちのイメージとはまた異なる世界が見えてきます。文学史料や絵画資料を紹介しながら、江戸時代の生活史の光と影を追っていきます。



岡本 彰夫 先生

専門 神道学

相談日 金曜日 13:30~16:30

ゼミナール 第4金曜日 14:00~15:30

日本人の伝承を中心に、祭礼や法会の中に隠されている未来への伝言等を色々な視点から読み解いて行きたいと思っております。



山崎 祥子 先生

専門 有機化学

相談日 土曜日 10:00~12:30

ゼミナール 第3土曜日 10:30~12:00

本ゼミナールでは、生命活動に関連する物質や食物、医薬品、繊維、プラスチックなど身近な有機化合物、有機合成の歴史、有機化合物のかたち、有機合成反応の基礎、現代の有機合成の話題などを楽しく学びましょう。



新任客員教授のご挨拶

西川 明彦 先生



今年度から客員教授に着任した西川明彦です。これまで正倉院事務所という宮内庁の出先機関で、約1300年前に作られた「正倉院宝物」という古文化財の保存管理に携わってきました。具体的には正倉院宝物のうちの工芸品について、調査や修理、模造製作等を担当し、とくに材料や技法、構造を中心に研究して参りました。近年は科学的な分析装置によって、無機物や有機物の同定が可能となり、材料の解明は進歩しました。しかし、構造や製作技法については機器類を用いた調査のみでの解明は適わず、現代の工芸技法などを拠り所に究明することがあります。正倉院宝物に限らず、工芸の場合、器形やそこに施された文様などの意匠について、考古学や美術史にもとづいた研究が従来主流です。しかし、それらの成果に加え、材料学や技法史にもとづいたアプローチによって得られた知見、および文献史学の知見を加えることによって、より精緻な議論が可能となります。そのような取り組みを工芸学と称しており、ゼミナールでその一端を紹介したいと思っております。

初年度はまず正倉院とは何なのかについて詳しくお話ししたいと思っております。



学習相談日

職名	教員名	専門	出勤日	時間
所長	野村 鮎子	中国文学・中国女性/ジェンダー史	なるべく事前に事務室へご予約のうえ、所長室へお越しください。	
客員教授	中澤 静男	教育学 (ESD、SDGs)	水曜日	9:30~12:30
客員教授	市来 百合子	臨床心理学	木曜日	9:30~12:30
客員教授	西川 明彦	工芸学	金曜日	10:00~13:00
客員教授	鈴木 則子	日本史学	金曜日	10:00~13:00
客員教授	岡本 彰夫	神道学	金曜日	13:30~16:30
客員教授	山崎 祥子	有機化学	土曜日	10:00~12:30

(出勤日順)

実施方法：対面式で実施します。

場所：客員教員・相談室

対象者：放送大学の在学生

※事前の相談申込は必要ありませんが、特に予約相談を希望される場合は事務室へご連絡ください。

※ゼミナール実施日は学習相談に応じられない場合がありますのでご了承ください。

ゼミナール開催日程・テーマ等について《6月～9月》

講師	専門	開催日程		テーマ
中澤 静男 (客員教授)	教育学 (ESD,SDGs)	6月10日(水)	10:30～12:00 (第2水曜日)	防災・減災 ジオパークに学ぶ持続可能な社会づくり
		7月8日(水)		気候変動・森林環境の現状
		8月19日(水)		生物多様性の劣化・資源の枯渇 ※第2水曜日は閉所日のため第3水曜日に変更
		9月16日(水)		国際協調路線の崩壊・平和教育 ※講師の都合により第3水曜日に変更
市来 百合子 (客員教授)	臨床心理学	8月6日(木)	《集中講義・木曜日》 ① 9:30～11:00 ② 11:10～12:40 ③ 13:10～14:40	学校における現代的教育臨床の課題と支援
		(① 1限目～③3限目)		
		9月3日(木)		(① 1限目～③3限目)
野村 鮎子 (所長)	中国文学・ 中国女性/ジェン ダー史	6月5日(金)	10:30～12:00 (第1金曜日)	漢詩で楽しむ四季3-梅雨の詩
		7月3日(金)		漢詩で楽しむ四季4-盛夏の詩
		無し		—
		9月4日(金)		漢詩で楽しむ四季5-秋の詩
鈴木 則子 (客員教授)	日本史学	6月12日(金)	10:30～12:00 (第2金曜日)	感染症の歴史1 梅毒
		7月10日(金)		感染症の歴史2 結核
		無し		—
		9月11日(金)		感染症の歴史3 麻疹
西川 明彦 (客員教授)	工芸学	6月19日(金)	10:30～12:00 (第3金曜日)	正倉院をまもる(保存1)
		7月17日(金)		正倉院をまもる(保存2)
		8月21日(金)		宝物をなおす(修理1)
		9月18日(金)		宝物をなおす(修理2)
岡本 彰夫 (客員教授)	神道学	6月12日(金)	14:00～15:30 (第4金曜日)	柳里恭考 ※講師の都合により第2金曜日に変更
		7月24日(金)		人生の応援歌「道歌」を学ぶ(Ⅰ)
		8月21日(金)		人生の応援歌「道歌」を学ぶ(Ⅱ) ※講師の都合により第3金曜日に変更
		9月25日(金)		人生の応援歌「道歌」を学ぶ(Ⅲ)
山崎 祥子 (客員教授)	有機化学	6月20日(土)	10:30～12:00 (第3土曜日)	天然有機化合物と合成有機化合物
		7月18日(土)		有機合成の歴史
		8月29日(土)		立体化学と鏡像異性体 ※第3土曜日は閉所日のため第5土曜日に変更
		9月19日(土)		炭素と炭素をつないで分子をつくる

奈良学習センターでは、毎月6回、所長と客員教授によるゼミナールを実施しています。

実施する日程・テーマ・内容・持参すべきものは、1学期・2学期それぞれの開始前に「奈良学習センターからのお知らせ」でお知らせします。また、日程や内容の変更および中止なども「奈良学習センターからのお知らせ」に掲載します。

ゼミナールの受講を希望する場合は、希望する各客員教授のゼミナール実施日に直接講義室にお越しください。
※市来先生の集中講義のみ、実施日の1週間前までにメールまたは電話でお申込みください。

放送大学の在学学生以外の方でゼミナール体験をお申し込みの場合は、ゼミナールの実施日の3営業日前までに「ゼミナール参加許可願」を事務室窓口へ提出、または電話でお申し込みください。

申込方法や受講手順、注意事項等、詳細は奈良学習センターウェブサイトおよび学内掲示板でご確認ください。

「お茶会」開催のお知らせ

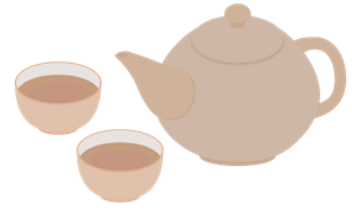
野村鮎子所長主催の「午後のお茶会」を下記のように開催いたします。

お茶は中国各地のお茶です。

時間内でしたら、何時からでも、どなたでもご参加いただけます。

興味のある方は奮ってご参加ください。

*学習相談も大歓迎です。



日 程：2026年5月1日（金）13：30～15：00
2026年6月5日（金）13：30～15：00
2026年7月3日（金）13：30～15：00
2026年9月4日（金）13：30～15：00

場 所：放送大学 奈良学習センター 交流スペース 【参加無料】

2026年度第1学期通信指導について

提出方法 ➡ Web



<提出期限>

5月7日（木）10：00～5月27日（水）17：00

※システムWAKABAの「Web通信指導」を選択し、解答を提出する。
提出後は、Web通信指導のトップページ画面の各科目の欄内に
「提出済(送信済)」と表示されます。

Web通信指導で解答を提出
(送信)した場合は、郵送での
提出は不要です。
提出しても無効となります。

提出方法 ➡ 郵送



<提出期限> **5月13日（水）～5月27日（水）必着**

※問題冊子表紙裏の「提出の方法」にしたがって送付してください。

《 注意 》

通信指導を期限内に提出し
合格しないと、単位認定
試験を受験できません！

《通信指導の添削・合否結果》

6月末～7月上旬に公開されます。

提出された答案は、当該科目の担当教員が添削指導を行います。択一式科目の解答・解説はWeb通信指導で提出（送信）することにより、記述式科目は、当該科目の担当教員が答案の添削を行った上で、Web通信指導上で確認することができます（郵送提出科目を除く）。合否結果はシステムWAKABAの以下(1)～(3)の画面で確認することができます。

- (1) 「教務情報→履修成績照会」
- (2) 「教務情報→学生カルテ→単位修得状況情報」
- (3) 「教務情報→単位認定試験時間割照会（学生用）」